

平成二〇年 造幣局桜の通り抜け

俳句入選句

辻田 克巳 選

特選

(三句)

花人になりて今寿の通り抜け

奈良県奈良市

魚谷 清子

【評】

ことしも花の「通り抜け」に観桜を嗜むめでたき八十歳。「なり」にその心を見る。

開門を待つ間の落花しきりなり

高知県土佐清水市

中平 泰作

【評】

「待つ」は人のみならず。まるでもどかしさを先取りせんばかりに散るさくらよ。

夕桜さびしくなれば空に舞ふ

奈良県生駒市

樋本 和恵

【評】
夕べとなれば「さびし」さに桜も「空に舞」う
のか。無論、作者自身の淋しさも。

入選

(五句)

満開の花の真上に昼の月

兵庫県姫路市

小坂 文之

寝たきりの母に落花を持ち帰る

大阪府高槻市

佐竹美和子

人寄らぬ花ほのぼのと咲き満てり

大阪府大阪市

かりそめの世に花見てふ遊びかな

大阪府大阪市

高木 節子

突然に日の照り初めし桜かな

大阪府大東市

堀 志皋

佳作

(二四句)

まなうらも桜色なる花疲れ

兵庫県西宮市

安立富美子

さくら色の風全身に花の昼

兵庫県三田市

石塚 春美

大川の水明りして夕桜

和歌山県田辺市

川口 修

琴の音の洩れくる雨の花見船

大阪府高槻市

日下 總一

曇天の空持ち上げて桜咲く

大阪府高槻市

久保 エミ

今の枝たよりに花の通り抜け
滋賀県大津市

小嶋 芳雄

白壁に午後となりたる花の影
大阪府大阪市

小林 虚人

晴天にピンクの香り通り抜け
大阪府大阪市

小森 幹夫

大川の向ふ岸にも花一樹

大阪府寝屋川市

篠永 妙子

還暦の桜に思う昔かな

京都府京都市

桜

宴果て水銀灯に花静か

大阪府大阪市

島田 玲爾

ひとり来て今年の花に語ること

滋賀県大津市

清水 瑛子

花宵の枝につきるし通り抜け

大阪府河内長野市

竹本 房子

借景に大坂城や桜狩り

兵庫県神戸市

出店智恵呼

手をつなぎたくなる花の通り抜け

福岡県春日市

野口 隆子

櫻散る水上バスの屋根の上
大阪府大阪市

濱上 幸男

川上は蕪村の生地夕ざくら
大阪府寝屋川市

冬 歩

あの世から父さん桜みてるよね
兵庫県伊丹市

福王まりこ

夜桜や会社帰りが来ておりぬ
大阪府大阪市

藤田千恵子

早ばやと葉桜も有り通り抜け
大阪府大阪市

松永八重子

花見上げゆつくり進む車椅子
大阪府大阪市

吉岡 美代

造幣局前でターンや花見舟
大阪府大阪市

渡辺喜代子

咲競ふ造幣局の八重桜
大阪府守口市

坂田 吟子

静まりて人を通らす桜かな
大阪府高槻市

田 彰子

選者吟

辻田 克巳

満開の絶頂の日の桜かな

花の雨雲竜は嶺蔽ひたる

わが齡雨の甘露の花下に置く

嬰の瞳の桜に佇てばさくら色

風立ちて桜陶然たる如し